

地域包括ケアシステムの構築に向けて（①介護予防・生活支援サービス事業）

訪問型サービス・通所型サービス（住民主体のサービスの開始）

- 要支援認定者と事業対象者に対して、従来の訪問介護に相当する身体介護や生活援助をはじめ、多様なサービス提供を行います。
- 要支援認定者と事業対象者に対して、従来の通所介護に相当する機能訓練をはじめ、多様なサービスの提供を行います。

平成28年度

- ・従来の介護予防給付相当のサービスの実施
- ・小平独自基準型（緩和した基準）によるサービスの実施



平成29年度予定

- 住民主体のサービスの開始
（住民主体の団体による要支援認定者、事業対象者への訪問および通所でのサービス提供が行われた場合に補助を実施予定です。）

地域包括ケアシステムの構築に向けて（②介護予防把握事業）

介護予防把握事業の実施

○要介護・要支援認定を受けていない高齢者のうち、一定の年齢（66歳以上の一定年齢ごと）の方の実態把握調査を行います。

平成28年度

・記名調査については未実施（平成27年度までは、二次予防対象者把握事業として実施）



平成29年度予定

○要介護・要支援認定を受けていない高齢者のうち一定の年齢の方（約1万1千人を想定）に対して記名調査を実施し、実態把握とニーズ分析を行い、必要な介護予防事業へつなげていくなど活用を図って行く予定です。

地域包括ケアシステムの構築に向けて（③介護予防普及啓発事業）

介護予防講座の充実

○会場にご自身で来られる方を対象に、生活機能の維持や向上を目的とする介護予防講座を実施します。

平成28年度

- ・歯つらつ健康教室（年4コース）
- ・介護予防講演会（年2回）
- ・いきいき介護予防講座（年8コース）
- ・気軽に元気アップ
介護予防教室（6会場、全179回）
- ・地域包括支援センターの
介護予防講座（年108回）
- ・認知症予防講座・教室（年72回）

平成29年度予定

充実分

○気軽に元気アップ介護予防教室
8会場、全290回程度に拡大する予定です。

地域包括ケアシステムの構築に向けて（④地域介護予防活動支援事業）

介護予防ボランティアポイントの開始

- 高齢者のボランティア活動実績を、介護予防ボランティアポイントとして評価することにより、介護予防を促進し、もって元気な高齢者が地域に貢献できるような取り組みを推進します。
- ポイント対象事業1回の参加1ポイントを付与し、3ポイントごとに小平ベリースタンプ100枚と交換することを想定しています。

平成28年度

・未実施

平成29年度予定

- ①介護予防見守りボランティア事業における交流会への参加
- ②介護予防教室（地域包括支援センター主催）での、運営の補助
- ③認知症カフェ（オレンジカフェ）の運営の補助等をポイント付与対象事業として実施予定です。

地域包括ケアシステムの構築に向けて（⑤地域介護予防活動支援事業）

ライフサポーター養成事業 ※28年度新規実施

- 小平市では、高齢者が地域で生活する上で重要となる介護予防・認知症・生活について支援を行う市民を「ライフサポーター」と総称し、介護予防リーダー、認知症支援リーダー、生活サポーターの養成を行っています。
- 介護予防リーダーは、介護予防講座の運営等の活動を担っていただくことを想定しています。
- 認知症支援リーダーは、オレンジカフェ（認知症カフェ）の運営等の活動を担っていただくことを想定しています。
- 生活サポーターは、訪問型サービス及び通所型サービスの小平独自基準型や住民主体型の活動を担っていただくことを想定しています。

平成28年度

- ・介護予防リーダー養成講座の実施
（定員20人、年1コース、フォローアップ2回）
- ・認知症支援リーダー養成講座の実施
（定員30人、年1コース）
- ・生活サポーター養成講座の実施
（定員20人、年2コース）

平成29年度予定

充実分

- 認知症支援リーダー養成講座（定員30人、年2コース、フォローアップ2回）に拡大。
- 生活サポーター養成講座（定員20人年3コース）に拡大。
- ※生活サポーター養成講座については、平成29年度は生活支援体制整備事業で実施予定です。

地域包括ケアシステムの構築に向けて（⑥生活支援体制整備事業）

生活支援体制整備事業

- NPO、民間企業、協同組合、ボランティアをはじめとする多様な団体との連携・協働により、地域全体で多様な主体によるサービス提供を推進します。
- 資源開発、ネットワーク構築、ニーズと取組のマッチングを行う生活支援コーディネーターを配置し、生活支援等サービスの提供体制の構築を図ります。
- 定期的な情報の共有・連携強化の場を設置することにより、多様な主体間の情報共有及び連携・協働による体制整備を推進します。

平成28年度

- ・第1層（市全域）の生活支援コーディネーターの配置（1名）
- ・第1層（市全域）の生活支援体制整備事業協議会の開催（5回）



平成29年度予定

- 第2層（おおそ中学校区域程度）の生活支援コーディネーターの配置（9名）
- 第2層（おおそ中学校区域程度）の生活支援体制整備事業協議会の立ち上げ
- 第1層（市全域）の生活支援体制整備協議会と第2層（おおそ中学校区域程度）の生活支援体制整備事業協議会の連携
- 日常生活圏域の見直しの検討
- 生活サポーター養成講座の実施

地域包括ケアシステムの構築に向けて（⑦認知症総合支援事業）

認知症総合支援事業の充実

○認知症初期集中支援チームの関与による認知症の早期診断・早期対応や、地域支援推進員による相談対応等を行い、認知症の人本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる地域の構築を推進します。

平成28年度

- ・オレンジカフェ（認知症カフェ）の開催
- ・認知症相談会の開催

平成29年度予定

充実分

- 認知症介護講座（家族向け）の実施
- 認知症ケア向上研修（事業者向け）の実施
- 認知症初期集中支援事業（市町村ごとに医療チームを配置）の開始
- 認知症地域支援員の配置（既存の認知症コーディネーターを変更）
- 認知症ケアパスの改訂

地域包括ケアシステムの構築に向けて（⑧在宅医療介護連携推進事業）

介護・医療連携推進事業運営協議会の充実

○介護と医療の連携を推進することにより、病院から在宅医療への円滑な移行等を図り、もって在宅医療が必要な高齢者等の福祉の向上に資することを目的とする、介護・医療連携推進事業運営協議会を開催しています。

○地域の医療・介護関係者の連携を実現するために、多職種でのグループワーク等の研修を行うほか、必要に応じて、地域の医療関係者に対する介護に関する研修、介護関係者に対する医療に関する研修を行います。

平成28年度

- ・協議会 年2回
- ・拡大協議会 年1回
- ・幹事会 年3回
- ・多職種研修会 年2回
- ・テーマ研修 年4回
- ・市民向け講演会 年2回
- ・在宅介護・医療資源マップ制作



平成29年度予定

充実分

○在宅医療・介護資源マップ発行

地域包括ケアシステムの構築に向けて（⑨家族介護支援事業）

徘徊高齢者家族支援サービスの充実

○認知症高齢者の徘徊に備え、早期に発見できる仕組み（GPS機器）を活用してその居場所を家族等に伝え、事故の防止を図るなど家族が安心できるサービスを実施しています。

平成28年度

・GPS端末の利用費用の補助の実施

平成29年度予定

充実分

○認知症高齢者に、QRコード付きのシールを身につけてもらい、QRコードを読み込むことにより登録されたメールに連絡が行われ、インターネット伝言板上で連絡を取ることができるシステムの導入を予定しています。